

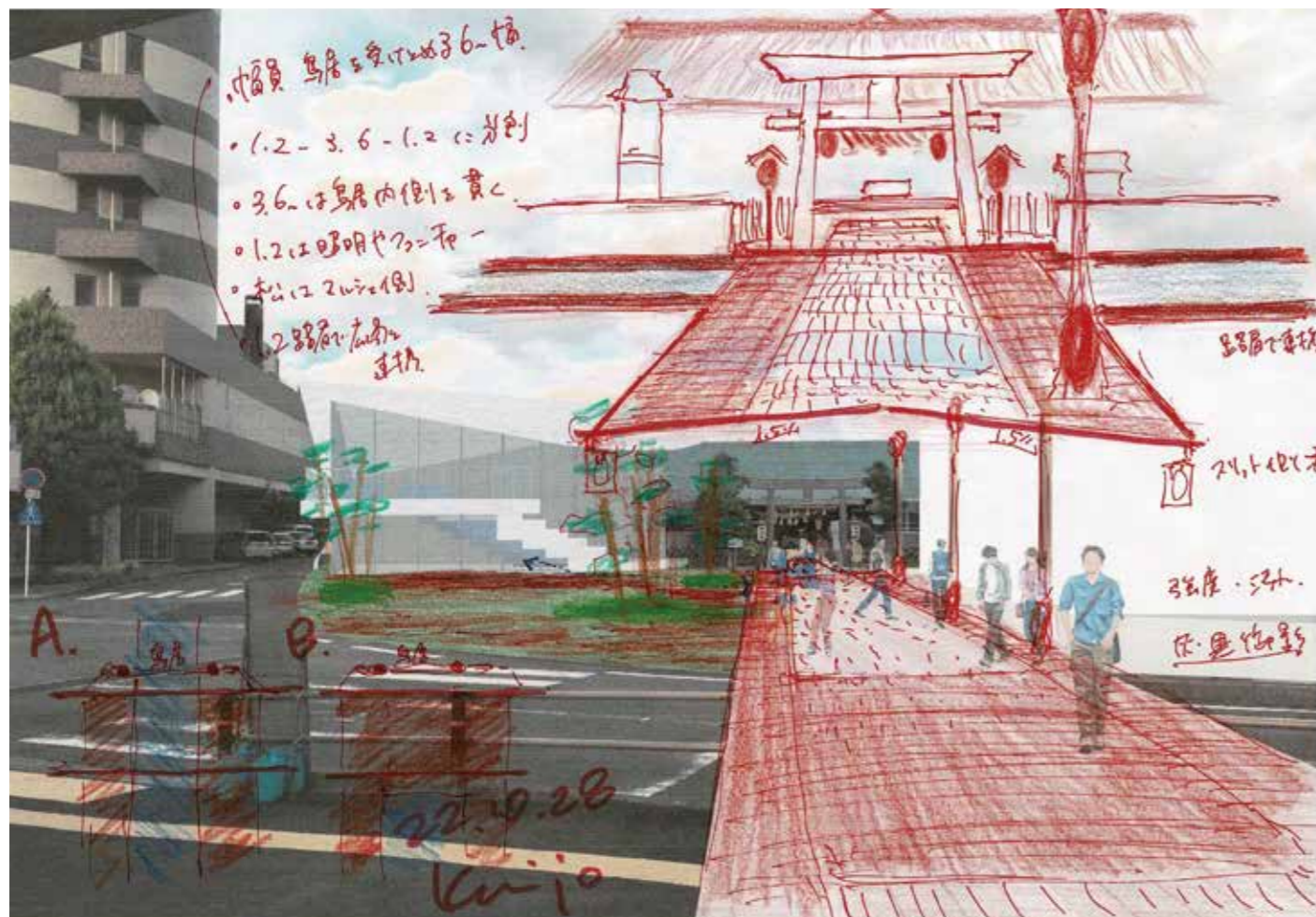
このニュースレターは、西郷港周辺地区の「デザイン」に関する検討状況を紹介するためのものです。

10年かけて一緒に、地区を今よりもっと魅力にあふれる楽しいまちにするための手法やプロセスを情報発信していきます。

アイデア

TOPIC 01

第1回みちづくりワークショップでのご意見を受けて、新しい道のデザインを検討中していきます。



▲大社分院通りの検討スケッチ

みちづくりワークショップで頂いたご意見をもとに、大社分院通りの検討を進めていきます。今後はデザイン案をスケッチや模型などを作成して、わかりやすくみなさんにお伝えします。

※このニュースレターでは右のような2種類のデザイン案をお示しします。

アイデア・・・皆さまから頂いた意見を元に、町とチームで考えた提案です
決定案・・・関係者間で協議調整を重ね、最終に取りまとめた案です

開催報告

TOPIC 02

第1回みちづくりワークショップ((仮称)大社分院通りWS)を開催しました。

開催日時

令和4年9月24日(土) 12:00-14:00

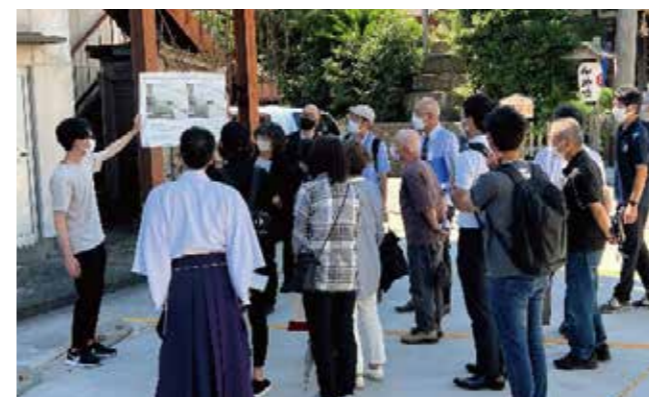
参加者

エリア会、出雲大社関係者、隠岐高校教員、生徒さん計:15名

WSの内容

①事務局挨拶/②計画説明/③「(仮称)大社分院通り」の幅を現地で確認/④意見交換

出雲大社前で、大社分院からターミナル前道路までロープを通し、計画位置を明示しました。3m、4m、6mの通り幅を検証しました。また、スカイブリッジからも確認を行い、(仮称)大社分院通りのイメージを膨らませました。



▲分院前で説明を聞く参加者の皆さん



▲スカイブリッジから幅員を確認する様子

「(仮称)大社分院通り」についての主な意見

- ・大社分院通りの幅員は6mが良いと思う
- ・道路幅が広いと見通しが良い
- ・大社通りが広いと祭りなどで活用できると思う
- ・鳥居の内側の幅(4m)が良いと思う
- ・通りに植栽がほしい
- ・町内の施設がなくなってしまうことや八雲荘がかかるため不安である

次号について

(仮称)大社分院通りのWSで頂いたご意見に基づくデザインアイデアをご提示するとともに、第2回みちづくりワークショップ((仮称)うみまち通りWS)の開催報告をします。

プロジェクトメンバーから

東町や西町に残る昔ながらの風景は、隠岐の宝物!



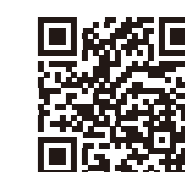
ランドスケープ担当
上條・福島都市設計事務所
代表取締役 上條 慎司

プロフィール 山梨県の小さな村の生まれ。地方都市を、町の中のデザインから変えていく外部空間の設計の専門家(都市設計家)。

ここ数年流行りのアニメの聖地巡礼。物語内の重要なシーンの舞台となったスポットを自ら訪れ、現実と空想との狭間にいる感覚を味わう、といった所でしょうか。僕は最近、新海誠作品などの著名映画しか観ていませんが、シーンの背景となるスポットはどこも美しい風景を兼ね備えていると感じます。素敵な風景は、空想の物語を生み出すきっかけになる、ともいえるかもしれませんね。これは日常の暮らしでも同じではないでしょうか。そこで過ごす時間を豊かにしてくれる、映画にも描写されそうな舞台、多くの物語が生まれる舞台を隠岐の島の中心に、皆さんと一緒につくってきたいという想いを秘めながら足を運んでいます!

発行
隠岐の島町都市計画課

Instagram



Instagram